

プログラム名		くものすゲーム							
対象年齢		年 中 ・ 年 長 （ 4 ～ 6 歳 ）							
ねらい	メッセージ	・ 人間以外の動物が自然の中で共生していることに気づこう							
	発見・体感 できること	・ 虫や小動物といったクモに狙われる生き物の気持ち ・ 林や森の暗さ、湿気、地面の感触、においなど							
参加者のめやす		幼 児 7人×2グループ		/		支援者		2 人	
実施時間		3 0 分							
フィールド									
	森・社寺林・公園	山・里山	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園			
実施可能時期									
自然を感じるためのヒント									
時 間	活 動		● 配慮・アドバイス アレンジ						
準 備	グループのメンバー全員が、 笛の合図で同時にスタートし、 クモの巣に引っかからないよう (鈴の音を鳴らさないよう)にバ ナナを取りに行く		● ロープかひもを、高さの変化をつけながら竹や木にからませてクモの巣状の迷路を作り、ゴール地点にバナナなどを置いておきます。 ● ロープにとこどころ鈴をぶら下げておくと、触れたときにわかりやすくなります。 あらかじめ園のキャラクター等からの手紙で状況設定しておくのもよいでしょう。 例えば、お話を作り、その内容を手紙などで知らせ て冒険に行くような設定をします。 ● 竹や木の枝などでケガをしないよう、注意して活動するよう伝えましょう。						
1 5 分			 「クモの巣ゲーム」の遊び方 木や竹などに張りめぐらされたクモの巣(ロープやひも)に触れないように、地面を這ったり、またいだり、くぐったりしながらゴール地点に向かいます。						



時 間	活 動	●配慮・アドバイス アレンジ
5 分	バナナを食べる	 グループの人数により、バナナを何人かで分け合えるようにしてもよいでしょう。
1 0 分	食べ終わった後、バナナの皮をどうすればいいか話し合う	他のゴミについても考える機会を作ってみましょう。 
【異年齢への対応】 年少：ロープの代わりにゴムひもを使うと、安全に遊ぶことができます。 ひもを張るときには、くぐり抜けやすいように高さを少し高めにして、単純な張り方にするとよいでしょう。		
【園や家庭へ帰ってから】 クモ以外の生き物にもなりきってみて、それらがどのような暮らしをしているのか考えてみましょう。 動物たちはどのようにつながっているのか（食物連鎖）について考えてみましょう。 動物たちが生きていくために何が必要か、みんなで話し合ってみましょう。		
準備物・教材等	・ロープかビニールひも ・鈴 ・バナナ ・袋	

